科目ナンバリング	U-LAS01 10001 LJ38						
授業科目名 <英訳>	日本史Ⅰ Japanese History I			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　　吉江　崇		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	歴史・文明(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	月2/月3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

【日本古代の国家と政治―律令国家の変化―】
日本における古代国家の様相を政治史という側面から把握し、古代日本の特質について理解することを目的とする。今期は、律令国家が変質をはじめる８世紀後葉から９世紀前葉の政治動向を取り上げ、先行学説を紹介するとともに批判的に検証を行う。こうした作業を通じて、国家の様相やその変遷を客観的に捉える視座を養うことを目指す。

[到達目標]

日本古代史における正確で幅広い知識を獲得するとともに、これまでの研究の流れを自分の力で整理し、それらを客観的・批判的に把握して、自らの歴史像を組み立てるための技術を習得する。

[授業計画と内容]

７世紀後葉に成立した日本の律令国家は、８世紀後葉から変質をはじめ、長い過渡期を経て１０世紀後葉に摂関政治へと転成した。今期は、そうした変質の初期にあたる８世紀後葉から９世紀前葉にかけての国家の様相を、政治史を中心にしながら考察する。まずは平安時代の幕開けを告げる桓武天皇の登場を検討し、奈良時代と平安時代の相違について理解する。次いで、長岡京・平安京への遷都の議論を概観し、また、仏教改革や新仏教の確立という観点から、この時期の仏教と国家との関係について考察する。最後に太上天皇制の変質や直系継承の成立に触れながら、摂関政治の前提となる天皇制の変容を検証する。

第１回　イントロダクション―奈良時代の政治と天皇―
第２回　桓武天皇の即位と天智系皇統（１）
第３回　桓武天皇の即位と天智系皇統（２）
第４回　平城京から長岡京・平安京へ（１）
第５回　平城京から長岡京・平安京へ（２）
第６回　平安時代初期の仏教改革（１）
第７回　平安時代初期の仏教改革（２）
第８回　大乗戒壇の独立と最澄（１）
第９回　大乗戒壇の独立と最澄（２）
第１０回　太上天皇制の変質と薬子の変（１）
第１１回　太上天皇制の変質と薬子の変（２）
第１２回　承和の変と直系継承の成立（１）
第１３回　承和の変と直系継承の成立（２）
第１４回　総　括
《期末試験》
第１５回　フィードバック

日本史Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

日本史Ⅰ(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

期末試験（筆記）にて成績評価する。

[教科書]

使用しない
授業中にプリントを配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

シラバスなどを通じて授業の進行を確認し、各回の授業内容を想定しながら予習をすること。

[その他（オフィスアワー等）]

授業は講義形式で行う。